

居合道 だより

第 140 号





はじめに

今年の冬は例年よりも寒さが厳しいと感じていたが、どうやらこちらが、いよいよ老体になってきたからというだけではなかったようだ。樹齢100年は超したと思われる拙宅の梅の老木がようやくほころび始めた。昨年より約一ヶ月も遅い開花である。それでも比較的に若い梅の木は、半月も前から例年通り凜と咲き誇っているのを見ると、やっぱりなあ〜と妙に感慨にふけったりもする。

先月、極寒の地、平昌での冬季オリンピックが、様々な国と地域、人々の、様々な思いを乗せて、様々なドラマを生み出し、17日間の熱闘に幕を閉じた。

結団式の時、日本チーム主将の小平選手が決意表明で『百花繚乱』と言ったように、過去の冬季オリンピック最多の13個のメダルを獲得した。メダルに届かなかった選手たちも自己ベストを更新したりと、純粹にスポーツを愛する我々

を充分楽しませてくれた。

特に感動的だったのは、日本中から金メダル確実と期待され、見事にその期待に応えて金メダルを獲得した二人の『絶対王者』。フィギアスケートの羽生結弦選手とスピードスケート500メートルの小平奈緒選手である。

羽生選手は本番三ヶ月前の練習で右足首を負傷し、完治しないままでの出場だった。66年ぶりの五輪フィギア二連覇という偉業もかかっていた。しかし彼は『右足首は大丈夫。僕は五輪を知っている』と言った。『すべてを犠牲にして人生を賭けている』とも。その言葉通りにまさに魂の演技、圧巻の滑りで金メダルを獲得した。誰にも負けない苦しい稽古と高い技術力に裏打ちされた揺るぎない自信。あの若さですでに王者の風格を漂わせていた。

小平選手は4年前のソチ五輪で惨敗後、単身で本場オランダに留学し実力をつけて、五輪前、各地での500メートル競技では24連勝を果たし本番でも五輪新記録で金メダルに輝いた。

試合直後のウィンニランの時、五輪三連覇がかかっていた地元韓国の英雄、李相花に近づき、泣き崩れる彼女の肩を抱き『今でもあなたをリスペクトしている』と寄り添った姿は、これぞ五輪の精神と世界中から絶賛された。命を賭けてきた者同士だけが通じ合える国境を越えた友情、心であろう。記録にも記憶にも残る名シーンだった。

羽生選手の印象的な言葉に『努力は裏切ることもある。しかし努力は無駄にはならない。』

小平選手は、どのような気持ちで練習をしてきたのかと聞かれたときに『努力、真摯、求道心』と語った。

すでに二人の相手は追ってくるライバルたちではなかった。

自身の心とだけせめぎ合い、そして己に克った。まさに『絶対王者』であった。

最後に二人は『他への感謝』も忘れなかった。

主な活動と3・4月の予定

主な活動

2月18日(日)	県居合道部	代表者会議	かすやドーム
2月25日(日)	地域稽古会	居合道部	飯塚市庄内公民館



3月・4月の活動予定

3月10日(土)	北九州居合道大会	北九州剣連	北九州総合体育館
3月25日(日)	福岡県居合道段位審査会	福剣連	福岡武道館
4月8日(日)	第48回(公社)福岡県剣道連盟	「武道祭」	
		福剣連	福岡武道館

破邪剣正一刀(茎)の緩み対策Ⅰ

刀(茎)の緩み対策

刀を使用する居合道は、常に刀を振り込むため、刀身と柄は確り固定されて居なければ成りません。しかし、固定されていたのに何時しか、柄を持つ手に刀身の微妙な違和感や鏗鳴を経験した方も多いと思います。

この現象は、刀を振り込む事により刀身と柄に掛かる応力により、柄木・切羽・ハバキ・目釘等の摩耗や変形で発生し、これらは少しずつ進行して行き、刀を振り込んだ時、柄を持つ手や異常音として感じ取れる様になります。これらの現象への対策は、切羽の追加・縁金具内への調整及び目釘の調整を行う方が多いと思いますが、緩み発生の根源は柄内で茎が動く事で、各部に加わる力で柄の素材である木の変形(乾燥を含む)や摩耗により緩みが発生するのです。つまり、柄と茎が完全に接着されて居れば目釘・切羽・鏗の緩みは殆ど発生しません。そこで、緩み対策は茎を確り固定する事が重要で、目釘・切羽・鏗の緩みを対策は茎の固定後に行う事をお勧めします。

<茎・鏗鳴の対策方法と手順>

準備する物

1. 厚さ 0.1 ~ 0.2 mm、幅 10 ~ 20 mm、長さ 60 ~ 100 mm の木片の極薄シート。

朴ノ木(版画用の板)・桧の板を鉋で削って作るか、経木を用いる。(経木の厚さ約 0.18 mm で硬い為、割れやすいので薄い和紙を裏張りして下さい)

2. 道具

木槌(プラハンマー・タオルを巻いた金槌)・ピンセット・ハサミ。

対策の手順

1. 刀の目釘を抜き、刀身・目釘・切羽・鏗・柄に分解する。
2. 柄に刀身単体を差込み、峰側と刃側の緩み度合いと柄と刀身の目釘孔の一致度合の確認。

☆正常な状態: 柄に茎を手で差込んだ時、柄孔の底より約 15 ~ 20 mm 手前で止まる程度の硬さが有り木槌で柄頭を叩いて底まで入れられ物は対策不用。(手で底まで入れられる物及び木槌 1 ~ 2 回で軽く入る物は対策が必要)

☆**目釘孔の位置はズレが無いこと。(柄の目釘孔は刀身の穴より僅かに大きい程度で有ること)**

3. 柄の緩みの大きい側に準備した極薄シートを L 字又は U 字型に曲げ柄に差し込む。
峰側は比較的厚みが有るので柄の峰側の 2 倍幅に切った極薄シートを入れても良く、刃側は薄いので柄の平地側に大きく被せた L 字にして柄にまとわせて入れる。

★柄尻への極薄シートを入れる時は目釘孔の位置を確認して入れること。

4. 仮組立開始・・・茎に極薄シートを沿わせ柄に差入れ、上記 1 項の☆印に成る様に繰り返す。
5. 茎を柄に挿入したら柄を垂直に持ち木槌で柄頭を叩いていれ、最初は軽く叩くと大きく沈み込み、(目釘も親指で軽く押し付けながら行う)目釘が入り始める頃から強めに叩き音もかん高くなる程度が理想です。

☆**茎を抜くには、目釘を抜き柄の縁金具に木片を当て木槌で叩いて抜きます。**

6. 補修量が良い状態に成ったら刀身にハバキ。切羽・鏗・切羽を装着し最終組立を行う。
7. 切羽や鏗の緩みが有る場合は、切羽は厚さ調整、鏗は鏗穴を調整する。
8. 鏗や切羽の調整は、緩んだ分を補正し目釘及び茎尻位置に影響の無い範囲で実施する。



道場訪問 - 若松居合道同好会

《道場の流れ》

前居合道部会長であられた故野正明和範士八段が若松に居を構えられてから若松剣道連盟の中に

「桜居会」を立ち上げられ、剣道関係者を主に若松警察署道場で活動されていた。野正先生は久留米の武揚館で修行された先生で剣道、居合道両道範士と雄県福岡を先頭になって引っ張って来られたことは周知の事実である。

その当時、若松二島にて少年剣道を手伝っていた津村先生が関係者からの誘いを受けて入門。平成5年4月に新若松武道館が完成。

稽古場所を移して活動していたが、平成23年2月に野正先生90歳と高齢を理由に会を解散。

そのあとを受けて津村先生が「若松居合道同好会」に改名、代表を変更して活動再出発。

現在、会員数5名。非会員数名（松野道場）。内女性1人（津村先生）



北九州市若松区古前1-1 若松武道場



若松居合道同好会

流派：夢想神伝流

指導：津村久美先生

場所：若松武道場

稽古日：火・木・土・日

時間：17:00～19:00

《稽古指導のポイント》

剣道連盟居合を中心に、正確で理合に沿った稽古を心がけている... とのこと。津村先生曰く。自分自身がまだまだ未熟なので

指導者などおこがましいのですが、だからこそ常に探究心、自分変革の心を失わないように精進していきたい。まさに稽古の虫である。

また、稽古曜日、時間が一緒であり、若くして亡くなられた松野先生の松野道場一門の灯も消さないように暖かく見守ってきたい... と

母親のような暖かさを 垣間見せる津村先生でした。

《稽古場所》

北九州市若松区古前1-1 若松武道場

《稽古曜日・時間》

火・木・土・日（17:00～19:00）





会員の声

若松居合道同好会の ホープ紹介

二段 小林 章さん 58才

3年前に居合道教室の開催をHPで見つけ、締め切りであった9月を過ぎていたにも関わらず若松居合道同好会を紹介して頂きました。

子供の頃に剣道をやっていましたが... 今さらながら自分に出来るのか？という不安は大きかったですが、勇気を振り絞ってHPに連絡させてもらって現在に至っています。津村先生の稽古熱心さには舌を巻いてしまいますが、私も津村先生にも自分にも負けずに稽古します。とのコメントを頂きました。これからの目標を聞いてみますと「居合は自己集中できるところが魅力です。したがって生涯学習として出来る限り長く続けていきたい」と目を輝かせて答えてくれました。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第140号 平成30年3月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL: <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847